

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	高齢者生活支援事業				
事業担当	福祉部 高齢福祉課				
予算科目	01-030103-040000		事業種類	○ ハード                  ● ソフト	
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち			
	03	③ 〈健康・安心・福祉力〉 その人らしく安心できる生活を支援する			
	02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する			
根拠法令等					
対象・受益者	高齢者		事業期間		
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働：                                  】				
目的・目標			事業の概要		
要援護高齢者、ひとり暮らし高齢者が、住み慣れた地域社会の中で、いきいきと暮らしています。			要援護高齢者やひとり暮らし高齢者が、住み慣れた地域社会の中で生活が続けられるようにするため、配食サービスや軽度生活援助などを実施します。		

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	高齢者生活支援利用事業数					単位	事業
	説明・算定式	予定事業数のうち利用を受け付けた事業数						
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	目標			12	13	13		
	実績			11				
活動指標②	指標名						単位	
	説明・算定式							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	目標							
	実績							
成果指標①	指標名	高齢者生活支援事業利用者数					単位	人
	説明・算定式	-						
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	目標			650	650	650		
	実績			582				
成果指標②	指標名						単位	
	説明・算定式							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	目標							
	実績							
進捗状況	①：予定どおり							
	遅れている理由							
平成19年度の主な取組と成果								
利用者数は予定を下回った。しかし、ひとり暮らし高齢者等に配食サービスの実施や緊急通報システムの設置等により、高齢者が安心して生活できるよう支援することができた。								
平成19年度の検証結果	B：おおむね成果があがった							

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	今後、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中において、事業費の増大も予想される中、市の支援は重要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	対象者の範囲を広げること可能な事業もあり、市民の満足度を高めるのに有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	一概に利用者負担を増やすことはできないため、現在の受益者負担、補助額は妥当である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	委託可能な事業については、委託により実施している。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 市民ニーズを把握し、拡大すべき事業や精査すべき事業について検討する必要がある。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				軽度生活援助、食の自立支援、緊急通報など	軽度生活援助、食の自立支援、緊急通報など	軽度生活援助、食の自立支援、緊急通報など		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	29,501	38,378	37,339	0	0
事業費 (A)		0	0	29,501	38,378	37,339	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	79.01				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.15	1.15	1.15	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	9,650	9,650	9,650	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	39,151	48,028	46,989	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 利用者のニーズに応じて、検討し、精査しながら継続実施する。	
平成21年度取組方針	
利用者のニーズに応じて、検討し、精査しながら継続実施する。	
課長コメント	事業の廃止・拡充について、制度、対象者や利用者ニーズを精査し、検討する必要がある。